

東吳大學 112 學年度暑假轉學生招生考試試題

第 1 頁，共 5 頁

系級	日本語文學系（進修學士班）三年級	考試時間	100 分鐘
科目	中級日語	本科總分	100 分

※一律作答於答案卷上(題上作答不予計分)；並務必標明題號，依序作答。

一、次の漢字の読み方を平仮名で書きなさい。(2点×10=20%)

- 1・将来 2・読書 3・素材 4・傑作 5・文房具
 6・産業 7・栄養 8・調査 9・首都 10・日常化

二、()に入れるのに最もよいものを A・B・C・D から一つ選びなさい。(2点×20=40%)

★請於答案卷上依照下列格式作答，答案請填寫英文字母。

1. () 2. () 3. () 4. () 5. ()

6. () 7. () 8. () 9. () 10. ()

11. () 12. () 13. () 14. () 15. ()

16. () 17. () 18. () 19. () 20. ()

1・面白くて、面白くて、あのころは()で勉強しました。

- (A. 夢中 B. 懸命 C. 熱心 D. 努力)

2・町から少し()ところに小さな教会がある。

- (A. あいた B. それた C. 出かけた D. はずれた)

3・彼女の様子から判断すると、どうやら不合格だった()。

- (A. はずだ B. そうだ C. らしい D. だろう)

東吳大學 112 學年度暑假轉學生招生考試試題

第 2 頁，共 5 頁

系級	日本語文學系（進修學士班）三年級	考試時間	100 分鐘
科目	中級日語	本科總分	100 分

- 4・明日都合が（ ）、一緒に映画でも見に行きませんか。
 (A. いいと B. よくて C. いいとき D. よければ)
- 5・マリーさんは外国人ながらなかなか日本語が（ ）。
 (A. うまい B. 好きだ C. 下手だ D. できない)
- 6・部長や社長などといった（ ）だけで人を判断することが多い。
 (A. 外見 B. 肩書き C. 身なり D. 顔つき)
- 7・失敗したらまたやればいいなんて、そんな（ ）ことではいけない。
 (A. 平和な B. 幸せな C. のんきな D. わがままな)
- 8・先生へのプレゼントは花（ ）どうだろう。
 (A. とか B. なんて C. くらい D. ばかり)
- 9・こんな簡単な問題なら、子供に（ ）できる。
 (A. でも B.こそ C. しか D. だけ)
- 10・街でこのような服装の人に出会ったら、いつでも声を（ ）ください。
 (A. 上げて B. 聞いて C. 出して D. かけて)
- 11・学生時代の友達はみんな（ ）になってしまった。
 (A. おのおの B. それぞれ C. ばらばら D. ぼろぼろ)
- 12・毎日少し（ ）練習すれば、きっと上手になれます。
 (A. も B. だけ C. しか D. ずつ)

東吳大學 112 學年度暑假轉學生招生考試試題

第 3 頁，共 5 頁

系級	日本語文學系（進修學士班）三年級	考試時間	100 分鐘
科目	中級日語	本科總分	100 分

13. この問題は難しくて、全く（ ）もつかない。
 (A. 見当 B. 予定 C. 目当て D. 見込み)
14. この靴、少し（ ）ようなので、もう少し大きいのはありませんか。
 (A. 狭い B. 短い C. きつい D. 苦しい)
15. たとえ失敗しても、（ ）をしてはいけません。
 (A. 言い訳 B. 言い換え C. 言い捨て D. 言い直し)
16. 忙しい世の中だから、心の（ ）が大切だ。
 (A. 空き B. すき C. ひま D. ゆとり)
17. 日曜日の方が、（ ）道路がこんでいることもある。
 (A. いっそ B. しかも C. かえって D. その上に)
18. 日本での生活が（ ）につれて、ますます日本が好きになってきた。
 (A. 長持つ B. 長くなる C. 長くする D. 長々となる)
19. 一生懸命努力したにもかかわらず、（ ）。
 (A. 疲れた B. 失敗した C. うまくいった D. 大丈夫だった)
20. この問題は、いくら考えても（ ）分からない。
 (A. さっぱり B. すっかり C. すっきり D. くっきり)

東吳大學 112 學年度暑假轉學生招生考試試題

第 4 頁，共 5 頁

系級	日本語文學系（進修學士班）三年級	考試時間	100 分鐘
科目	中級日語	本科總分	100 分

三、次の文章を中国語に訳しなさい。(10 点×4=40%)

1. 「生活にもっとユーモアを」とか、「職場に笑いを取り入れよう」とよく言われます。笑いが家庭や職場、またそれ以外の人間関係をすべて無条件に明るくするものだと信じこんでいる人は、「笑いが人を傷つける」と言われると、あるいは意外な気がするかもしれません。また、笑いの対象にされて怒りだすのは、必ずしもその人がユーモアを解しない人だから、というのでもないようです。笑いには、人を喜ばせると同時に、このように人を怒らせ、傷つける性質があることも否定することのできない事実なのです。

2. 言語と思考とは本来別のものではあるが、両者の間には密接な関係があり、言語がなければ、高度の思考は不可能である。それで言語の構造が、その言語を話す人の思考を決定するとは言えないけれども、各言語の発達には、その言語を用いる民族の文化が影響しており、その言語の表現形式が文化遺産であり、それを話す人々の発想法に影響しているということは十分に考えられる。

3. 日本語をローマ字で書き表すことは、少しも難しいことではない。日本語には漢字に由来する同音異義語がたくさんあるから、ローマ字が気にするとわけが分からなくなるという人がいるが、そんなことはない。言葉を選びさえすれば、十分によく分かるものになる。日本語を表音文字化するためには、この同音異義語を整理することが先決問題だとする説があるが、それは順序が反対であろう。同音異義語

東吳大學 112 學年度暑假轉學生招生考試試題

第 5 頁，共 5 頁

系級	日本語文學系（進修學士班）三年級	考試時間	100 分鐘
科目	中級日語	本科總分	100 分

を整理するためには、表音文字による表記を実行することである。そうすれば自然に同音異義語は使われなくなる。

4・日常に繰り返す、慣れきっている物事は、あまりにも当然すぎて、特別に気にはならない。ちょうど呼吸していることを、普通の状態では気にしないのと同じことである。私たちの日常は、そのほとんどが、このように日常化・慣習化された部分によって占められているとあってよい。慣習は、普段は空気の存在のように、ほとんど気にならない。むしろ、異なった慣習とぶつかってはじめて、その存在に気付くようなものである。